

# 枚方市商工だより

(2013年10月)

[主な内容]

地域経済動向調査 VOL-96 (2013年7~9月)

枚方市

【調査の概要】

本調査は、枚方市の委託事業として北大阪商工会議所が実施しているもので、地域経済の総合的な動向を把握することで、産業振興のための基礎資料として利用するとともに、地域の経営者等へ情報提供している。

調査対象は、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業の6業種で、市内の主要な産業を網羅している。

企業規模は、製造業は全数を、その他の業種は、従業者規模5人以上の事業所から無作為抽出している。

調査方法は、往復はがきによるアンケート方式で、2013年10月に881社に発送し、回答期限までに206社から回答が得られた。

全体の回答率は23.4%で、業種別・規模別回答状況は、表1、表2の通りである。

表1. 業種別回答状況

	集約業種名	母集団	回答数	回答率
製 造 業	食料・飲料	21	6	28.6
	繊維・衣服	52	8	15.4
	木材・家具	13	2	15.4
	紙・出版・印刷	31	5	16.1
	化学・プラスチック	50	15	30.0
	鉄鋼・非鉄金属	27	12	44.4
	金属製品	58	18	31.0
	一般機械	60	12	20.0
	電気機械	33	8	24.2
	その他の製造業	39	14	35.9
	製造業計	384	100	26.0
非 製 造 業	建設業	104	25	24.0
	卸売業	55	10	18.2
	小売業	155	25	16.1
	飲食店	65	15	23.1
	サービス業	118	31	26.3
		非製造業計	497	106
	合計	881	206	23.4

表2. 規模別回答状況

規模別	製造業			非製造業			全体		
	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率
1～3人	77	15	19.5	—	—	—	77	15	19.5
4～9人*	89	20	22.5	247	46	18.6	336	66	19.6
10～19人	68	24	35.3	127	24	18.9	195	48	24.6
20～29人	25	10	40.0	54	14	25.9	79	24	30.4
30～49人	37	9	24.3	35	10	28.6	72	19	26.4
50～99人	34	6	17.6	18	4	22.2	52	10	19.2
100～199人	35	12	34.3	12	5	41.7	47	17	36.2
200～299人	6	1	16.7	3	2	66.7	9	3	33.3
300人以上	13	3	23.1	1	1	100.0	14	4	28.6
合計	384	100	26.0	497	106	21.3	881	206	23.4

\*)非製造業の規模4～9人は5～9人である。

## 【概要】

国内の景気は、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、輸出が持ち直し、各種政策の効果が発現するなかで、家計所得や投資の増加傾向が続き、景気回復の動きが確かなものとなることが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

政府は10月の月例経済報告で、景気の基調判断を「景気は、緩やかに回復しつつある」としている。輸出は「このところ持ち直しの動きが緩やかになっている」から「おおむね横ばいとなっている」に、輸入は「横ばいとなっている」から「このところ持ち直しの動きがみられる」に変更している。企業の業況判断は「さらに改善している」としている。

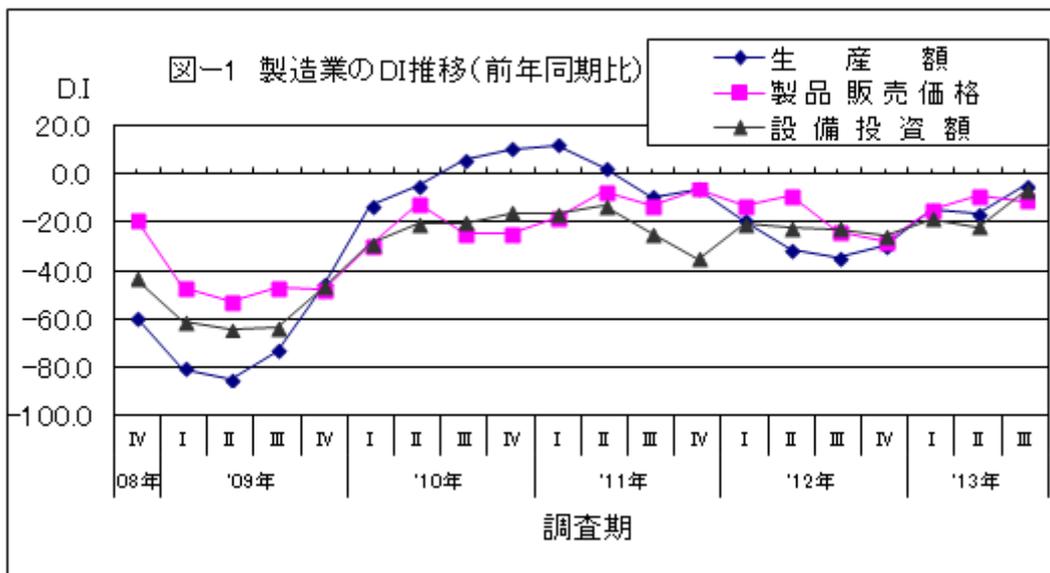
完全失業率は、10月は前月と同率の4.0%となった。完全失業者数は、263万人で前年同月に比べ8万人減少し、41ヶ月連続の減少となった。

帝国データバンクによると、平成25年10月の倒産件数は918件で、前月比は12.4%、前年同月比では4.5%の減少となり、3ヶ月連続で前年同月を下回った。倒産件数のうち、不況型の倒産は761件である。構成比は82.9%で、前月と比べると1.1P下回り、前年同月を2.9P下回った。負債額別にみると、負債5,000万円未満の倒産は500件で、前年同月比5.0%の増加となり、構成比は54.5%と高水準となった。地域別では、9地域中5地域で前年同月を下回った。なかでも、四国は前年同月比56.0%の大幅減少となったほか、北陸、九州、北海道でも前年同月比2ケタの減少となった。一方、中部など3地域は前年同月比2ケタの大幅増加となった。景気D.Iは前期比0.7P増の46.8となり、4ヶ月連続で改善した。「金融円滑化法利用後倒産」は69件判明し、前月を8件上回り2ヶ月連続で月間過去最多を更新した。また、2013年は10月までは483件判明しており、前年同月比51.9%の増加となっている。

2013年1月から10月までの企業倒産は8786件となり、年間の倒産件数は1万500件前後にとどまることが予想され、リーマン・ショック前の水準になると見られるが、2014年以降もこの水準が続くとは限らない。

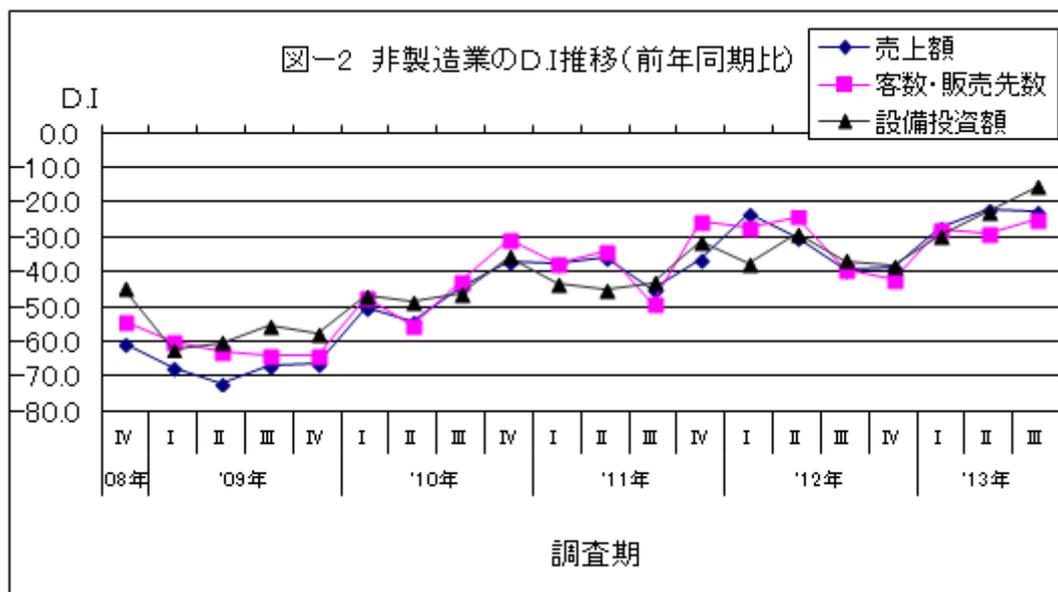
(注) 景気動向指標 (D. I = Diffusion Index)

= (増加・好転した企業の割合) - (減少・悪化した企業の割合)



2013年第3四半期(7~9月)の枚方市の、前期と比較した製造業の生産額、出荷額、製品在庫額、受注状況は、いずれもD.Iのマイナス幅が縮小している。向こう3ヶ月の景況は、前期とほぼ変わらない。

前年同期比では、生産額、設備投資額は、D.Iのマイナス幅が縮小している。製品販売価格は、D.Iのマイナス幅が拡大している。



非製造業の、前期と比較した売上額、採算状況、資金繰りは、いずれもD.Iのマイナス幅が縮小している。向こう3ヶ月の景況は、D.Iのマイナス幅が拡大している。

前年同期と比較した客数・販売先数、設備投資額のD.Iは、いずれも前期に引き続き改善がみられる。

表3 総括表(DIの推移)

景気動向指標		'07年	'08年				'09年				'10年				
		Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
製 造 業	前期	生産額	-1.1	-26.9	-33.6	-33.0	-56.1	-70.8	-55.7	-27.8	-20.4	-21.0	-5.1	-12.4	
		出荷額	-1.1	-22.8	-28.0	-35.4	-58.8	-68.1	-58.5	-30.8	-19.6	-18.3	-5.0	-9.6	
	中期	製品在庫額	-6.0	-12.5	-14.3	-9.7	-27.5	-23.3	-21.8	-19.6	-11.0	-17.0	-5.3	-3.0	
		原材料仕入額	62.8	63.0	81.3	67.7	6.3	-17.0	-1.9	7.6	-2.8	19.2	32.3	18.3	
	比	製品販売価格	8.0	4.3	3.8	1.0	-19.8	-38.4	-38.7	-27.4	-31.4	-21.2	-23.5	-18.8	
		採算状況	-48.3	-35.9	-54.2	-56.7	-63.2	-74.6	-63.6	-46.3	-31.5	-38.1	-33.7	-32.4	
	業	資金繰り	-25.0	-16.3	-27.1	-33.0	-37.2	-52.7	-45.3	-33.6	-28.0	-27.9	-21.4	-24.3	
		受注状況	-5.7	-23.7	-38.7	-43.3	-67.5	-79.8	-69.2	-34.3	-29.9	-21.9	-10.9	-13.3	
	業	向こう3ヵ月の景況	-24.4	-30.0	-34.3	-48.5	-77.0	-67.3	-38.3	-33.3	-30.6	-30.5	-5.0	-28.8	
		前同期	生産額	-16.9	-26.1	-36.4	-34.0	-59.6	-80.5	-84.9	-72.9	-45.8	-13.3	-5.0	5.7
業	前期	製品販売価格	-1.1	7.7	4.7	2.1	-18.6	-47.3	-52.8	-46.7	-47.6	-29.8	-12.1	-24.8	
	年比	設備投資額	-5.9	-10.2	-19.2	-26.0	-43.2	-60.9	-64.1	-63.4	-46.6	-29.0	-20.6	-20.2	
非 製 造 業	前期	売上額	-25.2	-42.2	-40.3	-38.4	-52.7	-66.7	-47.9	-57.9	-43.5	-43.8	-45.7	-34.6	
		採算状況	-46.9	-55.6	-57.0	-55.5	-66.4	-73.9	-60.0	-69.9	-54.4	-54.4	-54.3	-51.1	
	比	資金繰り	-30.6	-37.3	-38.9	-43.2	-44.3	-56.3	-46.2	-50.4	-40.6	-41.5	-46.5	-40.9	
		向こう3ヵ月の景況	-47.3	-54.1	-52.8	-60.0	-74.0	-67.4	-50.7	-51.9	-63.7	-46.3	-45.5	-48.1	
	業	前同期	売上額	-34.7	-51.5	-35.7	-46.5	-60.3	-67.4	-71.7	-66.7	-66.4	-50.0	-54.4	-44.4
		前期	客数・販売先数	-29.7	-47.3	-40.4	-41.1	-54.3	-60.2	-62.7	-64.0	-63.7	-47.5	-55.1	-42.7
	業	年比	設備投資額	-31.5	-37.7	-38.8	-37.4	-44.9	-62.2	-60.3	-55.5	-57.8	-47.0	-48.6	-46.5

景気動向指標		'10年	'11年				'12年				'13年				
		Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ		
製 造 業	前期	生産額	-5.7	-3.2	-11.6	-2.4	-15.7	-16.1	-35.4	-40.2	-15.8	-20.2	-6.3	-5.0	
		出荷額	-10.5	-2.2	-16.5	-4.8	-15.0	-12.0	-38.8	-41.7	-16.0	-20.4	-12.6	-4.0	
	中期	製品在庫額	-1.3	0.0	-14.1	-10.1	-11.5	-3.4	-7.3	-11.0	-1.1	1.1	-6.5	-4.2	
		原材料仕入額	32.6	37.4	39.8	35.7	19.5	28.3	9.3	-1.0	17.4	31.2	47.9	37.8	
	比	製品販売価格	-20.9	-8.7	-8.5	-10.8	-12.2	-20.9	-10.3	-22.3	-20.4	-16.3	-6.3	-7.1	
		採算状況	-31.0	-23.4	-38.4	-30.6	-14.5	-31.5	-38.4	-36.7	-27.4	-26.9	-26.0	-25.0	
	業	資金繰り	-23.3	-10.8	-14.6	-19.3	-14.8	-19.8	-29.9	-16.7	-17.4	-9.8	-13.7	-23.7	
		受注状況	-14.9	-6.5	-17.6	-22.4	-22.9	-22.6	-36.1	-41.8	-28.4	-28.7	-16.7	-5.0	
	業	向こう3ヵ月の景況	-15.1	-43.6	-8.1	-20.5	-28.8	-18.7	-24.7	-37.5	-16.3	-8.8	-1.1	-2.0	
		前同期	生産額	10.3	11.8	2.3	-9.4	-6.1	-19.4	-31.3	-34.7	-29.5	-14.9	-16.5	-5.0
業	前期	製品販売価格	-24.4	-18.0	-7.2	-13.3	-6.2	-13.3	-9.3	-24.0	-28.0	-15.1	-9.4	-11.1	
	年比	設備投資額	-16.0	-16.7	-13.3	-25.0	-35.0	-20.9	-22.1	-22.7	-25.8	-18.5	-21.9	-7.1	
非 製 造 業	前期	売上額	-24.8	-33.9	-29.4	-35.3	-24.3	-22.4	-30.6	-34.2	-33.9	-24.8	-23.0	-12.1	
		採算状況	-49.6	-46.0	-55.1	-56.7	-41.7	-34.8	-44.6	-48.2	-40.9	-31.9	-35.4	-27.6	
	比	資金繰り	-42.2	-38.2	-40.3	-47.5	-37.7	-26.1	-40.0	-37.8	-30.4	-27.4	-27.0	-24.0	
		向こう3ヵ月の景況	-38.6	-51.3	-40.5	-37.0	-40.0	-36.8	-46.6	-46.3	-38.9	-16.1	-8.3	-15.2	
	業	前同期	売上額	-37.0	-37.8	-35.6	-45.0	-36.3	-23.3	-30.3	-39.1	-38.9	-27.4	-22.3	-22.9
		前期	客数・販売先数	-30.4	-37.6	-34.1	-48.9	-25.3	-27.2	-24.1	-39.2	-42.1	-27.7	-28.8	-25.0
	業	年比	設備投資額	-35.8	-43.5	-45.1	-43.1	-31.5	-37.7	-29.1	-36.8	-38.2	-29.7	-22.9	-15.7

# 1. 製造業の景気動向

## ①【生産額】

前期と比べた当期（2013年7～9月）の生産額は、増加23.0%、横這49.0%、減少28.0%となっている。総合D.Iはマイナス5.0Pである。業種別にみると、食料・飲料、繊維・衣服、電気機械はD.Iがプラスからマイナスになっている。化学・プラスチック、その他の製造業は、D.Iのマイナス幅が縮小している。

前年同期比では、増加28.0%、横這39.0%、減少33.0%となっている。総合D.Iはマイナス5.0Pである。業種別にみると、食料・飲料、鉄鋼・非鉄金属はD.Iが0からプラスになっている。一般機械は増加と減少が拮抗している。

表4. 生産額

業種	当期の生産額は										
	前期に比べ					前年同期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	件数	増加	横這	減少	D.I	
製造業	食料・飲料	6	16.7	50.0	33.3	-16.7	6	50.0	33.3	16.7	33.3
	繊維・衣服	8	12.5	50.0	37.5	-25.0	8	25.0	37.5	37.5	-12.5
	木材・家具	2	100.0	0.0	0.0	100.0	2	100.0	0.0	0.0	100.0
	紙・出版・印刷	5	0.0	40.0	60.0	-60.0	5	20.0	40.0	40.0	-20.0
	化学・プラスチック	15	6.7	66.7	26.7	-20.0	15	0.0	60.0	40.0	-40.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	50.0	41.7	8.3	41.7	12	58.3	25.0	16.7	41.7
	金属製品	18	33.3	38.9	27.8	5.6	18	27.8	50.0	22.2	5.6
	一般機械	12	33.3	50.0	16.7	16.7	12	41.7	16.7	41.7	0.0
	電気機械	8	0.0	50.0	50.0	-50.0	8	25.0	37.5	37.5	-12.5
	その他の製造業	14	14.3	57.1	28.6	-14.3	14	7.1	42.9	50.0	-42.9
製造業計	100	23.0	49.0	28.0	-5.0	100	28.0	39.0	33.0	-5.0	

## ②【出荷額】

当期の出荷額は、増加24.2%、横這47.5%、減少28.3%となっている。総合D.Iはマイナス4.0Pである。業種別にみると、食料・飲料は、D.Iが、プラスからマイナスになっている。鉄鋼・非鉄金属はD.Iのプラス幅が拡大している。

表5. 出荷額

業種	出荷額は					
	前期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	
製造業	食料・飲料	6	16.7	50.0	33.3	-16.7
	繊維・衣服	7	14.3	42.9	42.9	-28.6
	木材・家具	2	100.0	0.0	0.0	100.0
	紙・出版・印刷	5	0.0	40.0	60.0	-60.0
	化学・プラスチック	15	6.7	66.7	26.7	-20.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	50.0	41.7	8.3	41.7
	金属製品	18	33.3	38.9	27.8	5.6
	一般機械	12	33.3	50.0	16.7	16.7
	電気機械	8	12.5	50.0	37.5	-25.0
	その他の製造業	14	14.3	50.0	35.7	-21.4
製造業計	99	24.2	47.5	28.3	-4.0	

### ③【製品在庫額】

前期と比べた製品在庫額は、不足 4.2%、適正 87.5%、過剰 8.3%である。総合 D.I はマイナス 4.2P となっている。業種別にみると、食料・飲料、繊維・衣服、木材・家具、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄金属、電気機械は、全ての企業が適正である。一般機械は不足と過剰が拮抗している。

表6. 製品在庫額

業 種	在庫額は 前期に比べ					
	件数	不足	適正	過剰	D.I	
製	食料・飲料	6	0.0	100.0	0.0	0.0
	繊維・衣服	7	0.0	100.0	0.0	0.0
	木材・家具	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	5	0.0	60.0	40.0	-40.0
	化学・プラスチック	15	0.0	100.0	0.0	0.0
造	鉄鋼・非鉄金属	12	0.0	100.0	0.0	0.0
	金属製品	17	5.9	82.4	11.8	-5.9
	一般機械	11	18.2	63.6	18.2	0.0
業	電気機械	8	0.0	100.0	0.0	0.0
	その他の製造業	13	7.7	76.9	15.4	-7.7
	製造業計	96	4.2	87.5	8.3	-4.2

### ④【原材料仕入額】

前期と比べた原材料仕入額は、値上がり 37.8%、横這 62.2%、値下がり 0%である。総合 D.I はプラス 37.8P となっている。業種別にみると、食料・飲料、木材・家具、紙・出版・印刷、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、電気・機械、その他の製造業は、D.I のプラス幅が縮小している。

表7. 原材料仕入額

業 種	仕入額は 前期に比べ					
	件数	値上	横這	値下	D.I	
製	食料・飲料	6	50.0	50.0	0.0	50.0
	繊維・衣服	7	100.0	0.0	0.0	100.0
	木材・家具	2	50.0	50.0	0.0	50.0
	紙・出版・印刷	5	40.0	60.0	0.0	40.0
	化学・プラスチック	15	40.0	60.0	0.0	40.0
造	鉄鋼・非鉄金属	12	58.3	41.7	0.0	58.3
	金属製品	18	22.2	77.8	0.0	22.2
	一般機械	12	25.0	75.0	0.0	25.0
業	電気機械	7	14.3	85.7	0.0	14.3
	その他の製造業	14	21.4	78.6	0.0	21.4
	製造業計	98	37.8	62.2	0.0	37.8

## ⑤【製品販売価格】

前期と比べた製品販売価格は、値上がり 1.0%、横這 90.8%、値下がり 8.2%である。総合 D.I はマイナス 7.1P となっている。業種別にみると、食料・飲料、木材・家具、化学・プラスチック、電気機械は、全ての企業が横這である。

前年同期比では、値上がり 5.1%、横這 78.8%、値下がり 16.2%である。総合 D.I はマイナス 11.1P となっている。業種別にみると、食料・飲料、繊維・衣服は値上がりと値下げが拮抗している。紙・出版・印刷、一般機械、その他の製造業は、D.I のマイナス幅が拡大している。

表8. 製品販売価格

業 種	当期の販売価格は										
	前期に比べ					前年同期に比べ					
	件数	値上	横這	値下	D.I	件数	値上	横這	値下	D.I	
製 造 業	食料・飲料	6	0.0	100.0	0.0	0.0	6	16.7	66.7	16.7	0.0
	繊維・衣服	7	14.3	71.4	14.3	0.0	7	14.3	71.4	14.3	0.0
	木材・家具	2	0.0	100.0	0.0	0.0	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	5	0.0	80.0	20.0	-20.0	5	0.0	60.0	40.0	-40.0
	化学・プラスチック	15	0.0	100.0	0.0	0.0	15	0.0	100.0	0.0	0.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	0.0	83.3	16.7	-16.7	12	25.0	58.3	16.7	8.3
	金属製品	18	0.0	94.4	5.6	-5.6	18	0.0	88.9	11.1	-11.1
	一般機械	12	0.0	83.3	16.7	-16.7	12	0.0	75.0	25.0	-25.0
	電気機械	7	0.0	100.0	0.0	0.0	8	0.0	87.5	12.5	-12.5
	その他の製造業	14	0.0	92.9	7.1	-7.1	14	0.0	71.4	28.6	-28.6
製造業計	98	1.0	90.8	8.2	-7.1	99	5.1	78.8	16.2	-11.1	

## ⑥【採算状況】

前期と比べた採算状況は、好転 9.0%、横這 57.0%、悪化 34.0%である。総合 D.I はマイナス 25.0P である。業種別によると、木材・家具は、D.I がマイナスからプラスに転じている。鉄鋼・非鉄金属は、好転と悪化が拮抗している。

表9. 採算状況

業 種	採算状況は					
	前期に比べ					
	件数	好転	横這	悪化	D.I	
製 造 業	食料・飲料	6	0.0	66.7	33.3	-33.3
	繊維・衣服	8	0.0	50.0	50.0	-50.0
	木材・家具	2	50.0	50.0	0.0	50.0
	紙・出版・印刷	5	0.0	60.0	40.0	-40.0
	化学・プラスチック	15	6.7	73.3	20.0	-13.3
	鉄鋼・非鉄金属	12	16.7	66.7	16.7	0.0
	金属製品	18	16.7	50.0	33.3	-16.7
	一般機械	12	8.3	66.7	25.0	-16.7
	電気機械	8	0.0	62.5	37.5	-37.5
	その他の製造業	14	7.1	28.6	64.3	-57.1
製造業計	100	9.0	57.0	34.0	-25.0	

## ⑦【資金繰り】

前期と比べた当期の資金繰りは、好転 2.1%、横這 72.2%、悪化 25.8%である。総合 D.I はマイナス 23.7P となっている。業種別にみると、食料・飲料は、D.I が 0 からマイナスになっている。繊維・衣服、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄金属は、D.I のマイナス幅が縮小している。

表10. 資金繰り

業 種	資金繰りは 前期に比べ					
	件数	好転	横這	悪化	D.I	
製 造 業	食料・飲料	6	0.0	66.7	33.3	-33.3
	繊維・衣服	7	0.0	71.4	28.6	-28.6
	木材・家具	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	5	0.0	80.0	20.0	-20.0
	化学・プラスチック	15	0.0	93.3	6.7	-6.7
	鉄鋼・非鉄金属	12	0.0	91.7	8.3	-8.3
	金属製品	18	0.0	72.2	27.8	-27.8
	一般機械	10	10.0	60.0	30.0	-20.0
	電気機械	8	12.5	37.5	50.0	-37.5
	その他の製造業	14	0.0	57.1	42.9	-42.9
製造業計	97	2.1	72.2	25.8	-23.7	

## ⑧【受注状況】

前期と比べた当期の受注状況は、増加 25.0%、横這 45.0%、減少 30.0%である。総合 D.I はマイナス 5.0P となっている。業種別にみると、食料・飲料は、D.I のプラス幅が縮小している。鉄鋼・非鉄金属、金属製品は D.I がマイナスからプラスになっている。その他の製造業は、D.I のマイナス幅が縮小している。

表11. 受注状況

業 種	受注状況は 前期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	
製 造 業	食料・飲料	6	16.7	83.3	0.0	16.7
	繊維・衣服	8	12.5	62.5	25.0	-12.5
	木材・家具	2	50.0	50.0	0.0	50.0
	紙・出版・印刷	5	20.0	20.0	60.0	-40.0
	化学・プラスチック	15	0.0	60.0	40.0	-40.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	58.3	33.3	8.3	50.0
	金属製品	18	38.9	33.3	27.8	11.1
	一般機械	12	33.3	41.7	25.0	8.3
	電気機械	8	12.5	37.5	50.0	-37.5
	その他の製造業	14	14.3	42.9	42.9	-28.6
製造業計	100	25.0	45.0	30.0	-5.0	

### ⑨ 【設備投資額】

前年同期と比べた当期の設備投資額は、増加 16.3%、横這 60.2%、減少 23.5%である。総合 D.I は、マイナス 7.1P となっている。業種別にみると、食料・飲料、金属製品は、増加と減少が拮抗している。鉄鋼・非鉄金属、電気機械は、D.I がマイナスからプラスになっている。

表12. 設備投資額

業 種	設備投資額は 前年同期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	
製	食料・飲料	6	33.3	33.3	33.3	0.0
	繊維・衣服	7	0.0	71.4	28.6	-28.6
	木材・家具	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	5	0.0	60.0	40.0	-40.0
	化学・プラスチック	15	0.0	86.7	13.3	-13.3
造	鉄鋼・非鉄金属	12	16.7	75.0	8.3	8.3
	金属製品	18	22.2	55.6	22.2	0.0
	一般機械	12	16.7	50.0	33.3	-16.7
業	電気機械	7	42.9	28.6	28.6	14.3
	その他の製造業	14	21.4	50.0	28.6	-7.1
	製造業計	98	16.3	60.2	23.5	-7.1

### ⑩ 【向こう3ヵ月の景況】

向こう3ヵ月の景況は、好転 24.5%、横這 49.0%、悪化 26.5%である。総合 D.I は、マイナス 2.0P となっている。業種別にみると、食料・飲料、その他の製造業は、D.I のマイナス幅が縮小している。木材・家具は、全ての企業が横這である。鉄鋼・非鉄金属は D.I がマイナスからプラスに転じている。

表13. 向こう3ヵ月の景況

業 種	向こう 3ヵ月の景況					
	件数	好転	横這	悪化	D.I	
製	食料・飲料	6	16.7	50.0	33.3	-16.7
	繊維・衣服	7	14.3	57.1	28.6	-14.3
	木材・家具	2	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	4	0.0	50.0	50.0	-50.0
	化学・プラスチック	15	0.0	73.3	26.7	-26.7
造	鉄鋼・非鉄金属	12	50.0	41.7	8.3	41.7
	金属製品	18	38.9	33.3	27.8	11.1
	一般機械	12	25.0	41.7	33.3	-8.3
業	電気機械	8	37.5	37.5	25.0	12.5
	その他の製造業	14	21.4	50.0	28.6	-7.1
	製造業計	98	24.5	49.0	26.5	-2.0

## 2. 建設業の景気動向

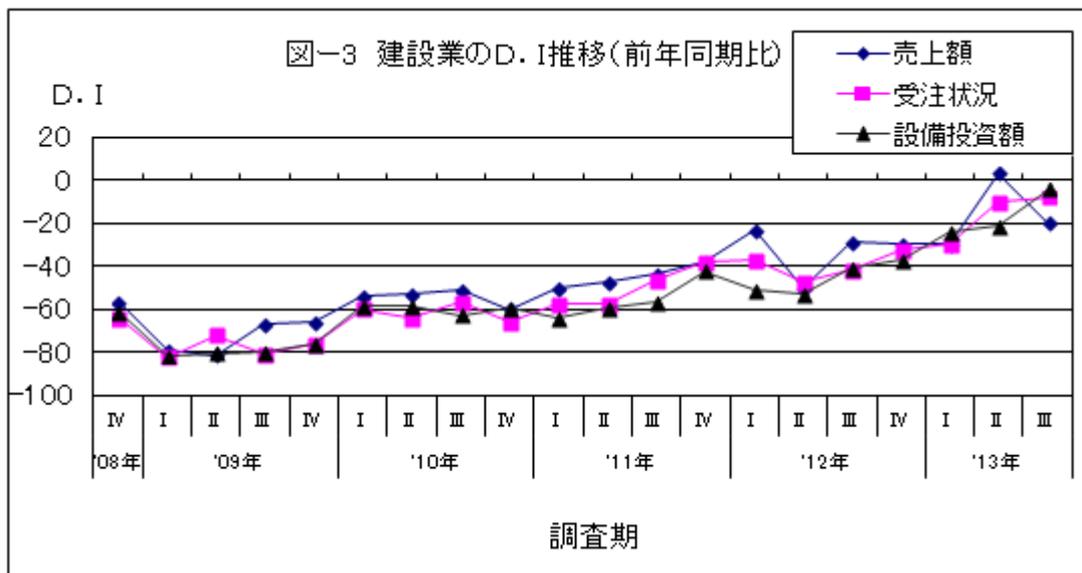
建設業の売上額、採算状況は、D.Iのマイナス幅が縮小している。資材仕入価格、労務費、工事引合件数は、D.Iのプラス幅が拡大している。受注単価・受注状況は、D.Iがマイナスから0になっている。

向こう3カ月の景況は、D.Iが0からマイナスになっている。

表14. 建設業の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D.I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	25	20.0	48.0	32.0	-12.0
	資材仕入価格	25	32.0	68.0	0.0	32.0
	労務費	25	32.0	68.0	0.0	32.0
	工事引合件数	25	28.0	48.0	24.0	4.0
	受注単価	25	12.0	76.0	12.0	0.0
	採算状況	25	4.0	68.0	28.0	-24.0
	資金繰り	24	4.2	62.5	33.3	-29.2
	受注状況	24	25.0	50.0	25.0	0.0
	向こう3カ月の景況	24	16.7	62.5	20.8	-4.2
前年同期比	売上額	25	24.0	32.0	44.0	-20.0
	受注状況	25	16.0	60.0	24.0	-8.0
	設備投資額	23	17.4	60.9	21.7	-4.3

前年同期比では、売上額は、D.Iがプラスからマイナスになっている。受注状況・設備投資額は、D.Iのマイナス幅が縮小している。



### 3. 卸売業の景気動向

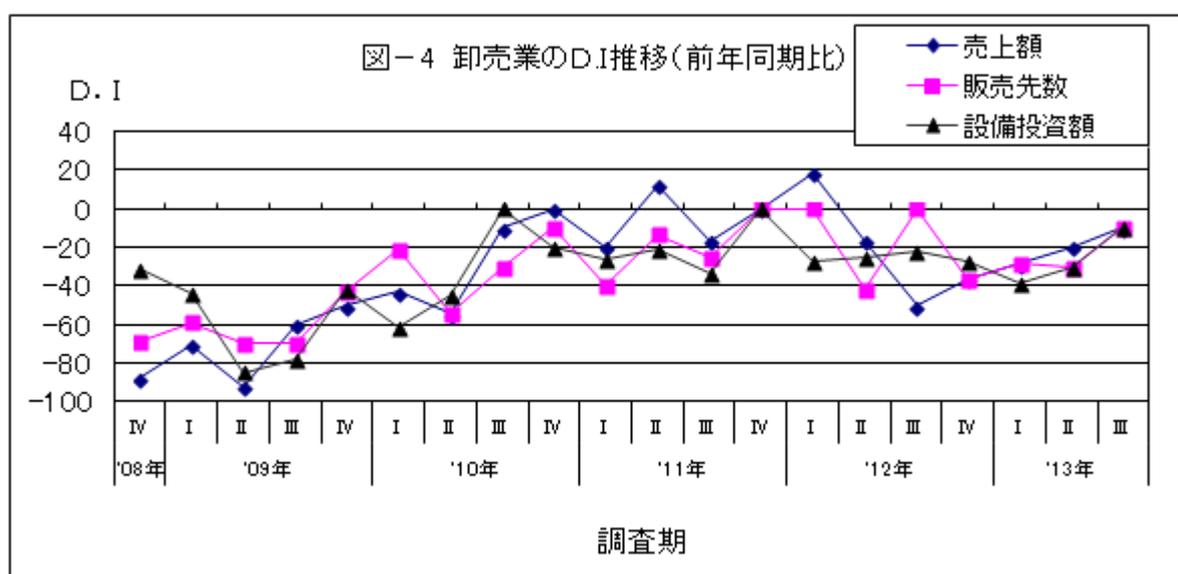
卸売業の売上額、客単価、商品販売価格は、D.I がマイナスからプラスに転じている。販売先数、商品在庫、採算状況、資金繰り、荒利益率は、D.I のマイナス幅が縮小している。

向こう3ヵ月の景況は、前期に引き続きD.I のマイナス幅が縮小している。

表15. 卸売業の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D.I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	11	45.5	27.3	27.3	18.2
	販売先数	11	9.1	63.6	27.3	-18.2
	客単価	11	27.3	54.5	18.2	9.1
	商品仕入価格	11	63.6	27.3	9.1	54.5
	商品在庫	11	9.1	54.5	36.4	-27.3
	商品販売価格	11	36.4	54.5	9.1	27.3
	採算状況	11	18.2	45.5	36.4	-18.2
	資金繰り	11	9.1	63.6	27.3	-18.2
	荒利益率	11	9.1	45.5	45.5	-36.4
	向こう3ヵ月の景況	11	18.2	54.5	27.3	-9.1
前年同期比	売上額	10	30.0	30.0	40.0	-10.0
	販売先数	10	20.0	50.0	30.0	-10.0
	設備投資額	10	20.0	50.0	30.0	-10.0

前年同期比では、売上額、販売先数、設備投資額は、前期に引き続きD.I のマイナス幅が縮小している。



#### 4. 小売業の景気動向

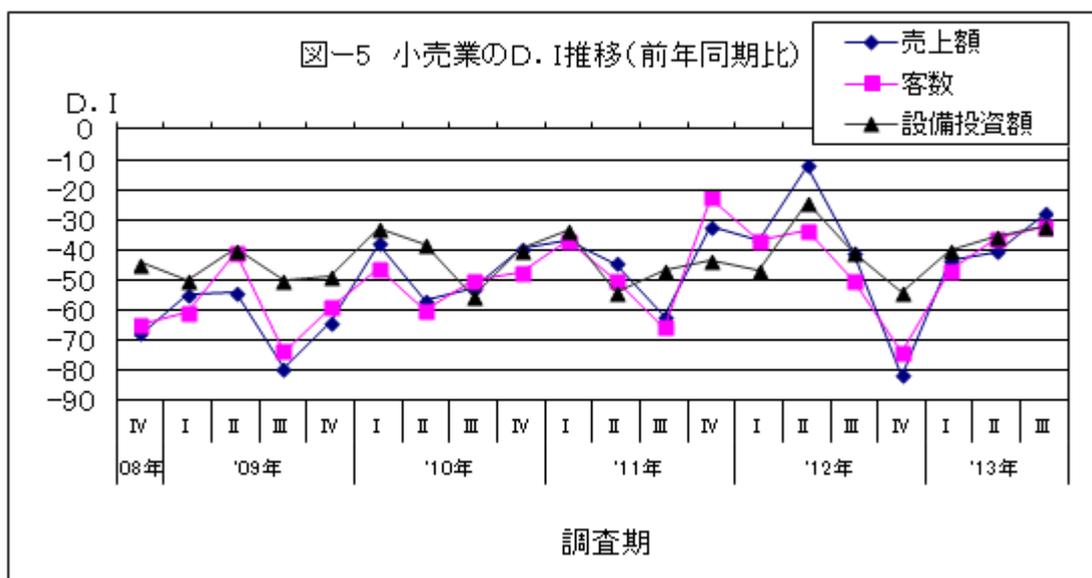
小売業の売上額、客数、客単価、商品販売価格は、D.I のマイナス幅が縮小している。商品仕入価格は、D.I のプラス幅が縮小している。商品在庫、採算状況、資金繰り、荒利益率は、D.I のマイナス幅が拡大している。

向こう3ヵ月の景況は、D.I のマイナス幅が拡大している。

表16. 小売業の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D.I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	25	16.0	48.0	36.0	-20.0
	客数	25	20.0	40.0	40.0	-20.0
	客単価	24	4.2	70.8	25.0	-20.8
	商品仕入価格	25	24.0	68.0	8.0	16.0
	商品在庫	25	4.0	56.0	40.0	-36.0
	商品販売価格	25	12.0	68.0	20.0	-8.0
	採算状況	24	0.0	37.5	62.5	-62.5
	資金繰り	24	4.2	45.8	50.0	-45.8
	荒利益率	25	0.0	44.0	56.0	-56.0
	向こう3ヵ月の景況	25	8.0	56.0	36.0	-28.0
前年同期比	売上額	25	16.0	40.0	44.0	-28.0
	客数	25	16.0	36.0	48.0	-32.0
	設備投資額	25	20.0	28.0	52.0	-32.0

前年同期比では、売上額、客数、設備投資額は、前期に引き続き D.I のマイナス幅が縮小している。



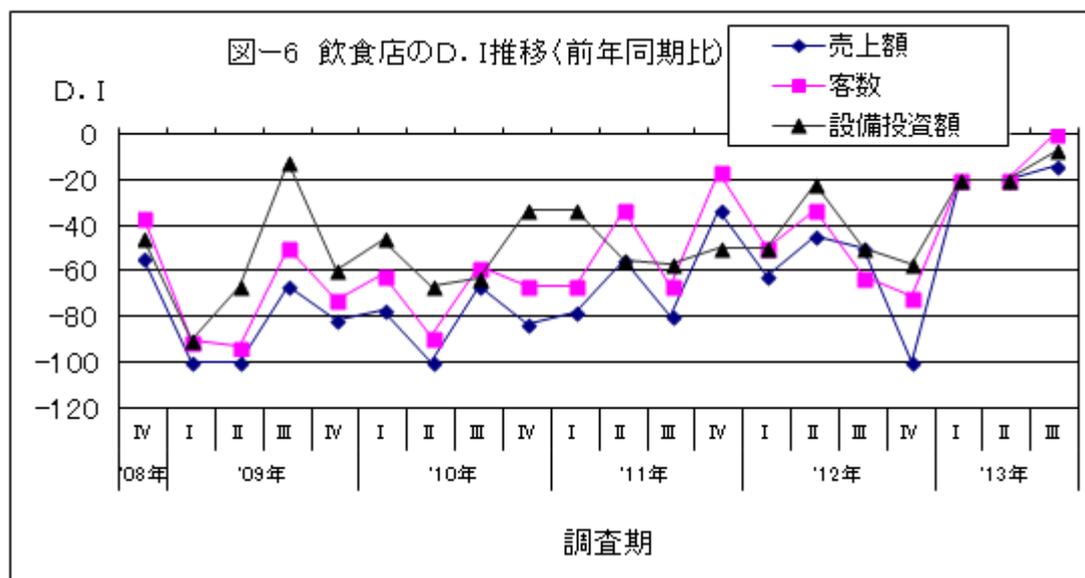
## 5. 飲食店の景気動向

飲食店の売上額、採算状況、資金繰り、荒利益率は、D.Iのマイナス幅が縮小している。客単価は、D.Iがマイナスからプラスに転じている。向こう3ヵ月の景況は、D.Iのマイナス幅が縮小している。

表17. 飲食店の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D.I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	15	20.0	53.3	26.7	-6.7
	客数	15	26.7	46.7	26.7	0.0
	客単価	14	21.4	64.3	14.3	7.1
	採算状況	14	14.3	64.3	21.4	-7.1
	資金繰り	14	7.1	71.4	21.4	-14.3
	荒利益率	14	7.1	50.0	42.9	-35.7
	向こう3ヵ月の景況	14	7.1	64.3	28.6	-21.4
前年同期	売上額	14	28.6	28.6	42.9	-14.3
	客数	14	28.6	42.9	28.6	0.0
前年比	設備投資額	13	7.7	76.9	15.4	-7.7

前年同期比では、売上額、設備投資額は、D.Iのマイナス幅が縮小している。客数は、D.Iがマイナスから0になっている。



## 6. サービス業の景気動向

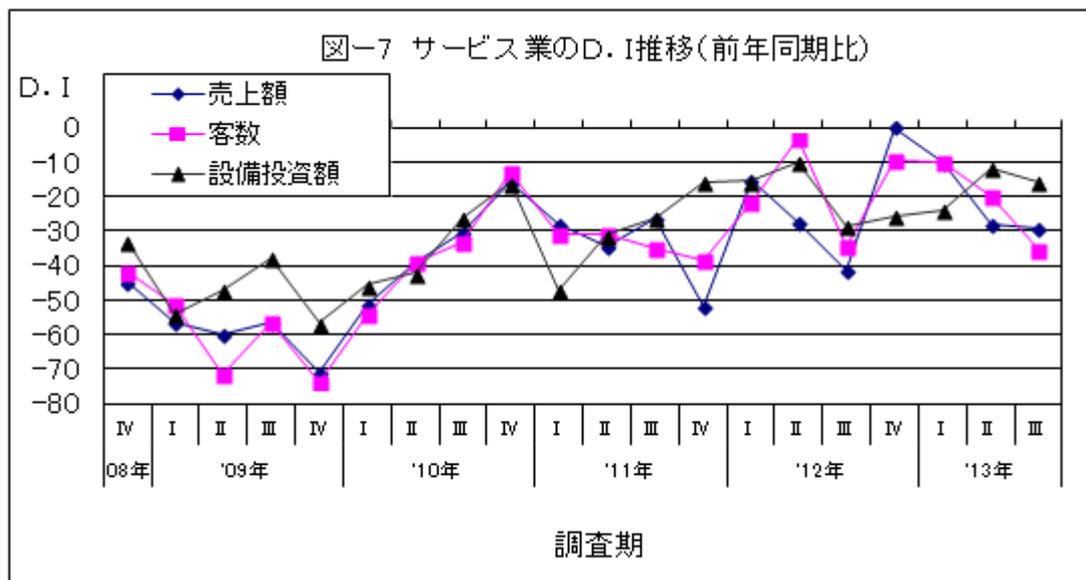
サービス業の売上額、客単価、採算状況、荒利益率は、D.Iのマイナス幅が拡大している。資金繰りは、D.Iのマイナス幅が縮小している。

向こう3ヵ月の景況は、D.Iのマイナス幅が拡大している。

表18. サービス業の景気動向

景気動向指標		事業所数	増加	横這	減少	D.I
			不足	適正	過剰	
			値上	横這	値下	
			好転	横這	悪化	
前期比	売上額	31	16.1	48.4	35.5	-19.4
	客数	31	6.5	54.8	38.7	-32.3
	客単価	31	3.2	67.7	29.0	-25.8
	採算状況	31	9.7	64.5	25.8	-16.1
	資金繰り	31	9.7	71.0	19.4	-9.7
	荒利益率	31	6.5	61.3	32.3	-25.8
	向こう3ヵ月の景況	31	12.9	61.3	25.8	-12.9
前年同期比	売上額	31	12.9	45.2	41.9	-29.0
	客数	31	6.5	51.6	41.9	-35.5
年比	設備投資額	31	9.7	64.5	25.8	-16.1

前年同期比では、売上額、客数、設備投資額は、D.Iのマイナス幅が拡大している。



— 枚方市の当期の特徴 —

- ・ 製造業は、原材料仕入額の上昇が緩やかになりつつある。
- ・ 非製造業は、サービス業が資金繰り以外の全ての項目において前期・前年同期比を下回っており、回復がみられない。

自由意見

産業分類	規模	自由意見
食料品製造業	G	電気代、ガス代のコストアップが経営を圧迫している
衣服・その他繊維製造業	A	この一年は安定して仕事がありました。
	C	日本産業はどうなるのか？
パルプ・紙・紙加工品製造業	C	市場が縮小傾向にある。
化学工業	F	原材料の仕入れ価格の高騰
プラスチック製品製造業	G	全体的に停滞感が強い。原材料は値上がりしたが、商品への転嫁できず苦戦中
鉄鋼業	C	ソーラーパネルの架台が順調である。
金属製品製造業	C	特定の取引先に対する依存度が高い。
	E	消費税の増税もあり、これから先の経済動向不透明です。
	F	アベノミクスは中小企業にまだ届いていない！
一般機械器具製造業	B	景気が良いのか悪いのか？新聞等書かれている上方修正というのが肌で感じられない。
電気機械器具製造業	E	アベノミクスに期待する
輸送用機械器具	E	激しい戦いを行っているが、裁量の出どころであり楽しくもある。
その他の製造業	B	中国にて生産しているがコストはUP。（中国の原材料、賃金、諸経費等）販売価格は以前と同じか、競争激化で下がってきている。
総合工事業	C	消費税が上がるため、駆け込み受注が多くなった
飲食料品卸売業	E	もうコメントも出ない
建築材料・鉱物・金属材料等卸売業	A	大阪だけが（特に中小零細企業）経済動向（日本全体の）から取り残されている
繊維・衣服・身の回り品小売業	B	売り上げ横ばい原価高で悪化
飲食料品小売業	C	猛暑で売り上げは伸びたが、電気代のコストを吸収しきれず営業利益率は下がった
		お先真っ暗閉店したい
家具・建具・じゅう器小売業	E	税金支払いの為苦しい。同業者が増加したため。
その他の小売業	B	来店客は同業の転廃業で増えました。異業種ライバルとの競争が激しいです。労働条件は年々ブラック化しています。
一般飲食店	B	お客さまも減少方向にある枚方市駅前。原価ばかりが上がって本当にしんどいです。
その他の飲食店	B	経営者の私も75歳ですが従業員も60～75歳と高齢の人も4名いますが仕事は若い人に負けないですよ！
娯楽業	D	台風による修理費
専門サービス業	D	東京オリンピックの追い風にしっかり乗りたい。

規模区分 A = 1～3人、B = 4～9人、C = 10～19人、D = 20～29人、  
E = 30～49人、F = 50～99人、G = 100人以上